

簡易版

ルールメイキング実践サポート

ルールメイキング 教員ガイド



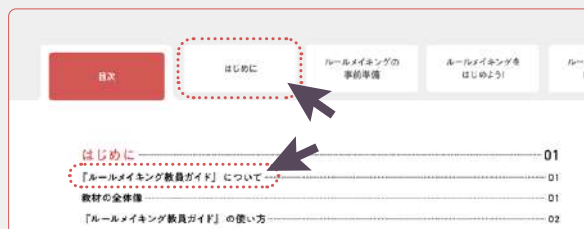
RULE MAKING

本誌の操作方法

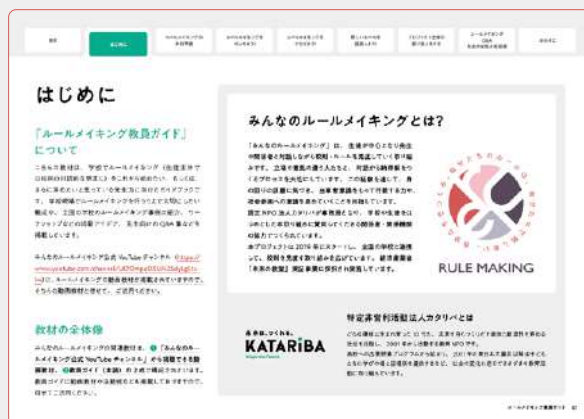
こちらの教材は、印刷のほかパソコン・タブレットでの表示に対応しています。パソコン・タブレットで表示する場合は、インデックスや URL、クリックマークがある箇所は、クリックまたはタップすることで該当するページや外部サイトにアクセスできます。ぜひ、ICT 端末を利用して活用ください。

1

本誌のインデックスをクリックすると、
該当するページへリンクします。



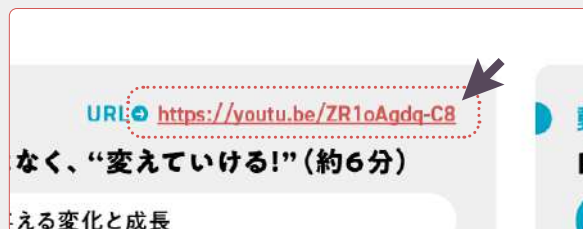
①インデックスをクリック



②該当ページに移動します

2

URLをクリックすると、
該当サイトへアクセスできます。



① URL をクリック



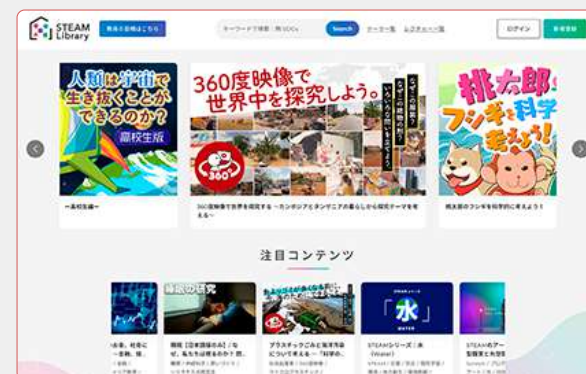
② Web ブラウザで該当サイトが開きます

3

マークがある対象をクリックすると、
該当サイトへアクセスできます。



①マークが示すオブジェクトをクリック



② Web ブラウザで該当サイトが開きます

はじめに 01

『ルールメイキング教員ガイド』について 01

教材の全体像 01

みんなのルールメイキング宣言 02

『ルールメイキング教員ガイド』の使い方 03

動画教材の使い方 04

● 入門編の動画教材について

● 実践編の動画教材について

● 番外編の動画教材について

ルールメイキングの事前準備 07

①入門編動画をみて対話する ～ルールメイキングへの意欲を高める～ 08

②実施目的を整理し、取り組む意義を周知する

(1)実施目的を整理する 09

(2)年間計画を立てる 10

(3)ルールメイキングの実施目的を教員に伝える 11

③プロジェクトキックオフ

(1)校則検討のメンバーを募集 12

(2)チームビルディング 生徒・教員の関係づくり 13

(3)1年間の見通しを持つ（実践編①の動画教材解説） 14

ルールメイキングをはじめよう! 16

Step 1 ルールについての基本認識を形成する 17

Step 2 対話についての基本認識を形成する 18

Step 3 広く検討すべきルールを見つける 20

Step 4 見直したいルールを決める 21

【動画教材解説】実践編②の動画でわかること／活用シーン 22

【動画教材解説】実践編③の動画でわかること／活用シーン 23

【活動例】実践編②の動画を活用したワークショップ事例 24

【活動例】実践編③の動画を活用したワークショップ事例 25

【活動例】見直したいルールを可視化するワークショップ事例 26

【活動例】見直したいルールを決めるワークショップ事例 27

ルールメイキングをひろげよう! 28

Step 5 調査計画を立てる 29

Step 6 調査を実施して、データをまとめる 30

【活動例】様々な調査方法の例 31

【動画教材解説】実践編④の動画でわかること／活用シーン 32

【活動例】実践編④の動画を活用したワークショップ事例 33

新しいルールを提案しよう! 34

Step 7 新ルール（解決策）をつくる 35

Step 8 新ルール（解決策）を提案する 36

Step 9 新ルールの運用に向けて準備をする 38

【動画教材解説】実践編⑤の動画でわかること／活用シーン 39

プロジェクト全体の振り返りをする 40

【活動例】プロジェクト全体の振り返りをするワークショップ事例 41

ルールメイキング振り返りチェックリスト 42

【動画教材解説】発展的な学習につなげる・番外編③の動画でわかること／活用シーン 44

【動画教材解説】教職員向け動画：番外編①の動画を題材に、対話をする 45

ルールメイキング Q&A 先生のお悩み相談室 49

①周りの先生と一緒に、校則やルールメイキングについて考える 50

②保護者の方・地域の方と一緒に、校則やルールメイキングについて考える 52

【活動例】教員コアメンバー 対話ワークショップ 53

【活動例】教員全体 対話ワークショップ 54

【動画教材解説】教職員向け動画：番外編②の動画を題材に、対話をする 55

おわりに 58

ルールメイキングパートナーになりませんか? 58

はじめに

『ルールメイキング教員ガイド』 について

こちらの教材は、学校でルールメイキング（生徒主体での校則の対話的な見直し）をこれから始めたい、もしくは、さらに深めたいと思っている先生方に向けたガイドブックです。学校現場でルールメイキングを行ううえで大切にしたい観点や、全国の学校のルールメイキング事例の紹介、ワークショップなどの活動アイデア、先生向けの Q&A 集などを掲載しています。

みんなのルールメイキング公式 YouTube チャンネル (<https://www.youtube.com/channel/UCfOmpqOXUJkZSdyLgEtu-iw>) に、ルールメイキングの動画教材が掲載されていますので、そちらの動画教材と併せて、活用ください。

教材の全体像

みんなのルールメイキングの関連教材は、①「みんなのルールメイキング公式 YouTube チャンネル」から視聴できる動画教材、②教員ガイド（本誌）の2点で構成されています。教員ガイドに動画教材や活動例なども掲載しておりますので、併せて活用ください。

みんなのルールメイキングとは？

「みんなのルールメイキング」は、生徒が中心となり先生や関係者と対話しながら校則・ルールを見直していく取り組みです。立場や意見の違う人たちと、対話から納得解をつくるプロセスを大切にしています。この経験を通して、身の回りの課題に気づき、当事者意識をもって行動する力や、社会参画への意識を高めていくことを目指しています。認定 NPO 法人カタリバが事務局となり、学校や生徒をはじめとした本取り組みに賛同してくださる関係者・関係機関の協力で行われています。

本プロジェクトは 2019 年にスタートし、全国の学校と連携して、校則を見直す取り組みを広げています。経済産業省「未来の教室」実証事業に採択され実施しています。



特定非営利活動法人カタリバとは

未来は、つくれる。
KATARIBA
Shape the Future

どんな環境に生まれ育った 10 代も、未来を自らつくりだす意欲と創造性を育める社会を目指し、2001 年から活動する教育 NPO です。

高校への出張授業プログラムから始まり、2011 年の東日本大震災以降は子どもたちに学びの場と居場所を提供するなど、社会の変化に応じてさまざまな教育活動に取り組んでいます。

みんなのルールメイキング宣言

みんなのルールメイキング宣言とは?

校則・ルールの制定や見直しを進めるうえで大切にしたいことを、ルールメイキングに関わるすべての人が立ちかえられるような指針としてまとめたものが、「みんなのルールメイキング宣言」です。校則見直しに携わる生徒や先生、一般公募で集まった中高生有志メンバー、さまざまな専門分野の有識者らとともに約半年にわたり検討をつづけ、宣言文を完成させました。この教員ガイドでも、ページの右上の部分に、それぞれのStepに対応する形で宣言文の該当箇所を掲載しています。ぜひ、参考にしてみてください。

みんなのルールメイキング
公式サイトで、
「ルールメイキング宣言」の
冊子がダウンロードできます!



クリックしてPDFを
ダウンロード



▲読み取り用
QRコード

前文

学校は、民主主義社会を支える、最も重要な土台となる場所です。「自分たちの社会は自分たちでつくる」が民主主義社会の原則であるならば、学校もまた、「自分たちの学校は自分たちでつくる」機会を、生徒・教員・保護者などの関係当事者に十分に保障する必要があります。我が国の教育基本法は、「平和で民主的な国家及び社会の形成者」を育むことを教育の目的としています。それはすなわち、他者の自由を認めることのできる、自由で自立した市民の育成です。この教育の「最上位目的」を達成するためにこそ、私たちはルールメイキングに取り組みます。ルールは、一人ひとりの自由や多様性を守り、認め合うために存在するものです。立場や価値観などを異にする人たちが、互いを尊重し、対話を重ね、納得解をつくり合っていく。そんな力を身につけることは、生徒がこの社会を生きていく上でも、きわめて重要なことであると私たちは信じています。だからこそ、校則・ルールのもとで学校生活を送る生徒自身の参画機会を保障しながら、生徒はもちろん、教員や保護者や地域の方など関係する人たちが、校則・ルールについてともに対話し、見直し続けていくことを、私たちはここに宣言します。

校則・ルールの制定や見直しを 進めるうえで前提にしたい **3**つの原則

- 1 一人ひとりの尊厳を大切に。 **個人の尊重**
- 2 「そもそも何のための学校か」を最上位に。 **最上位目的との整合性**
- 3 学校は校則を公開し、その制定・改廃への生徒の参画を保障する。 **公開原則と意見表明権の保証**

校則・ルールの制定や見直しを 進めるうえで大切にしたい **9**カ条

- 1 一人ひとりが安心して居られ、声に耳を傾け合える環境づくり **心理的安全性**
- 2 疑問をもった「私」からはじめる **発議の権利**
- 3 「なぜ、この校則・ルールが存在するのか」を確認する **制定の根拠・背景の確認**
- 4 固定観念にとらわれない **前提の再考**
- 5 目的にかなう手段（校則・ルール）を論理的に提案する **目的合理性**
- 6 論点を明確にして、対話でみんなの納得解をつくる **対話的なルールづくり**
- 7 関係者が取り組みを見えるようにする **プロセスの可視化**
- 8 できた校則は公開する **情報の公開**
- 9 一度つくった校則・ルールを見直し続ける **継続性と改定手続きの制度化**

『ルールメイキング教員ガイド』の使い方

このガイドブックは、全体の構成として【事前準備編】【実践編】【先生向け Q&A 編】という大きく3つの章に分かれています。どこから読んでもルールメイキングを進めるうえでのヒントを得られる内容になっています。学校や先生方が抱えている課題、ルールメイキングの進み具合などは、それぞれの学校によって異なります。まずは教員ガイドの中から「ここは、自分の学校でも活用できそう!」という部分を見つけて、読んでみてください。

お悩みパターン別!教員ガイドの使い方

周囲の理解を得られない

自分の学校で校則・ルールの見直しに取り組んでみたいのですが、周りの先生方から理解が得られず、なかなか始められません…。



まずは「ルールメイキング
Q&A (p.49 ~)」へ!



こんな先生方のお悩みに答えます

- ☐ 校則を見直すことについて、管理職の教員や、生活指導部の教員から同意を得られていない
- ☐ 学校全体で、この取り組みへの理解を広げていきたい
- ☐ まずは個人でできることを探してみたい

何から始めるべきか

学校内で、本格的に校則・ルールの見直しをおこなう必要性が高まってきています。一体どんなことから始めればいいのでしょうか?



まずは「ルールメイキング
の事前準備 (p.7 ~)」へ!



こんな先生方のお悩みに答えます

- ☐ 校則を見直すことについて、管理職の教員や、生活指導部の教員から同意を得られており、これから学校全体で校則・ルール見直しの活動を始めることになった
- ☐ 教員主導ではなく、生徒主体の校則・ルールの見直しの活動に取り組んでみたい
- ☐ 1年間、活動を進めていくためのイメージを持ちたい

進め方に不安がある

すでに校則・ルールの見直しに取り組んでいるものの、「このままの進め方でいいのかな?」と悩んでいます…。ルールメイキングの活動をさらに深めるための方法や観点について知りたいです!



実践編の「ルールメイキング
をはじめよう! (p.16 ~)」へ!



こんな先生方のお悩みに答えます

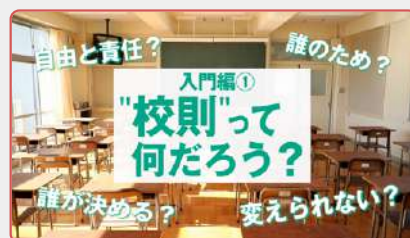
- ☐ すでに学校全体で、校則・ルールの見直しを実施している、もしくは見直しを行ったことがある
- ☐ 生徒主体の校則・ルールの見直しの活動を通じて生徒自身の学びに繋げていくために、アイデア実践事例などを知りたい
- ☐ 校則・ルールの見直しのプロセスについて、このままの進め方でよいのか迷っている

動画教材の使い方(1)

「みんなのルールメイキング公式 YouTube」上に掲載されている動画教材は、合計 11 本です。主に生徒向けの【入門編】【実践編】、そして主に先生向けの【番外編】という大きく 3 つのセクションに分かれています。こちらも教員ガイドと同じく、どこから視聴してもルールメイキングのヒントを得られる内容になっています。それぞれの用途に合わせて、動画教材を活用ください。

入門編の動画教材について

入門編は、生徒がルールメイキングの取り組みについて知り、「自分でもやってみたい! できるかも!」と感じられるような映像コンテンツとなっています。これからルールメイキングの活動をはじめの学校において、生徒や先生方に向けた導入用の映像としても活用できます。



入門編① 校則・ルールって何だろう?
(約 3 分)



入門編② 校則・ルールは“どうせ変わらない”のではなく、“変えていける!”
(約 6 分)



入門編③ 身のまわりの“当たり前”を疑ってみよう
(約 7 分)

実践編の動画教材について

実践編は、全国のケーススタディや専門家による解説をもとに、学校でルールメイキングを進めていくためのヒントを得ることができる映像コンテンツとなっています。ルールメイキングに取り組んでいる生徒や先生方が、それぞれの活動段階に応じて、映像を活用できます。



実践編① ルールメイキングの
進め方を知ろう
(約 5 分)



実践編② ルールメイキングをはじめよう
～そもそもルールとは?～
(約 5 分)



実践編③ ルールメイキングをはじめよう
～対話のあり方～
(約 5 分)



実践編④ ルールメイキングを
ひろげよう
(約 5 分)



実践編⑤ 新しいルールを提案しよう
(約 5 分)

動画教材の使い方(2)

番外編の動画教材について

番外編は、主にルールメイキングに取り組みたい先生方に向けた映像コンテンツとなっています。校則・ルールの見直しの活動に関心を持ち始めた先生方に、取り組みのヒントとなるような内容となっています。番外編③の動画は、応用編として生徒活動や授業内でも活用できます。



番外編
①

【特別対談】いまなぜ、教育現場で
ルールメイキングが必要なのか?
(約 60 分)



番外編
②

【ルールメイキング Q&A】
先生方のお悩み相談室
(約 25 分)



番外編
③

【社会で活躍するプロフェッショナル
に聞く】ルールメイキングの意義
(約 13 分)

ルールメイキングの動画教材を見るには?

動画教材は2つの方法で視聴することができます。経済産業省の「未来の教室」が運営する新しい学びのプラットフォーム「STEAM ライブラリー」(<https://www.steam-library.go.jp/>)と「みんなのルールメイキング公式 YouTube」に同様の動画が掲載されています。視聴環境に応じて、媒体を選んで活用ください。

「みんなのルールメイキング公式YouTube」での視聴方法

YouTube 1 「みんなのルールメイキング」公式 YouTube にアクセス



URL をクリックして公式 YouTube へ

URL ➡ <https://www.youtube.com/channel/UCf0mpqOXUJkZSdyLgEtu-iw>



▲読み取り用
QRコード

目次

はじめに

ルールメイキングの
事前準備

ルールメイキングを
はじめよう！

ルールメイキングを
ひろげよう！

新しいルールを
提案しよう！

プロジェクト全体の
振り返りをする

ルールメイキング
Q&A
先生のお悩み相談室

おわりに

動画教材の使い方(3)

YouTube 2 再生リスト「ルールメイキング動画教材」を選択

ルールメイキング動画教材(対話的な校則見直し教材) ▶ イベで再生

「みんなのルールメイキング」は生徒が中心となり先生や関係者と対話しながら校則・ルールを見直ししていく取り組みです。立場や意見の違う人たちと、対話から納得解をつくるプロセスを大切に。



YouTube 3 動画教材を視聴する



「STEAMライブラリー」での視聴方法

STEAMライブラリー 1 まずは、STEAM ライブラリーのサイトにアクセス



▲読み取り用
QRコード

URL をクリックして STEAM ライブラリーへ

URL ➡ <https://www.steam-library.go.jp/>

STEAMライブラリー 2 キーワード検索のページで「ルールメイキング」と入力

STEAM教材を探してみよう

ルールメイキング

科目から検索する

SDGsから検索する

Search

STEAMライブラリー 3 動画教材を視聴する



ルールメイキングの 事前準備

このセクションでは、関係者が取り組みの意義を理解し、今後の活動の見通しを持ったうえで、安心して意見を言い合える下準備ができることをめざします。

ルールメイキングに実際に取り組んだ学校の例をみて感想を伝え合うところから初めても構いません。自身の学校にとって適切なやり方で活動がはじめられるように、事前準備をはじめましょう。

① 一人ひとりが安心して居られ、声に耳を傾け合える環境づくり

心理的安全性

② 疑問をもった「私」からはじめる

発議の権利

⑦ 関係者が取り組みを見えるようにする

プロセスの可視化



▲安田女子中学高等学校のルールメイキング委員会の生徒が、活動計画について話し合っている様子

目次

① 入門編動画をみて対話する ～ルールメイキングへの意欲を高める～

ルールメイキングに取り組んだ学校の例を紹介している入門編②③の動画を視聴し、率直な意見や感じたことを共有する

② 実施目的を整理し、取り組む意義を周知する

- (1) 実施目的を整理する
- (2) 年間計画を立てる
- (3) ルールメイキングの実施目的を教員へ伝える

③ プロジェクトキックオフ

- (1) 校則検討のメンバー募集
- (2) チームビルディング：生徒・教員の関係づくり
- (3) 1年間の見通しをもつ

活用できる動画教材



入門編②
校則・ルールは
“どうせ変わらない”ので
はなく、“変えていける!”



入門編③
自分のまわりの“当たり前”
を疑ってみよう



実践編①
ルールメイキングの
進め方を知ろう

②実施目的を整理し、取り組む意義を周知する

(1)実施目的を整理する

ルールメイキングを自分の学校で取り組むにあたり、実施する意義や育てたい力などを整理しましょう。

以下の観点について整理した内容について他の先生方（管理職の先生や、生徒指導を担当する先生など）とも共有し、助言をもらえるとよいでしょう。

実施目的の整理

●ルールメイキングに取り組む意義について

①自身の学校でルールメイキングに取り組む意義は何でしょうか？

<観点：学校の教育方針、生徒の特徴（強み／課題）、学校経営の特徴（強み／課題）、地域的な特性など>

②ルールメイキングを通じて、生徒にどのような力を育てたいですか？

さっそくルールメイキングを実践したい学校・先生

p.10 へ

次に行くこと

- ・実践に向けて、具体的な年間計画を立てる。
- ・実践に向けての課題を整理する。

●校則・ルールの現状について

①見直す必要がある校則には、どのようなものがありますか？

②校則や生徒指導に対して、学校内外からどのような声が聞かれていますか？

ルールメイキングの実践に向け、学校内の協力者を増やしたい学校・先生

p.49 へ

次に行くこと

- ・身近な先生同士で、学校内で校則・ルールについて考える場を持つ。
- ・学校内で校則・ルールを考える研修を実施する。

②実施目的を整理し、取り組む意義を周知する

[年間計画の参考資料はこちら](#)
[p.15 へ](#)

(2)年間計画を立てる

ルールメイキングの実施目的を整理できたら、具体的な年間計画を考えます。

どのような活動を、どのタイミングで実施するのかを決めることで、ルールメイキングの全体イメージを持つことができます。

p.15 には、安田女子中学高等学校の年間計画が事例として掲載されています。

下記の表を使って、年間計画案を立ててみましょう

生徒会や有志など、活動の中心となる体制を決め、メンバーを募集・確定します。

定期テストや行事など、ルールメイキング活動ができない時期との兼ね合いに気を付けます。

夏休みなど、生徒活動が中止する期間を活用し、教員研修などを実施して教員間での理解浸透を進めます。

学校内外での調査計画を立て、新ルール作成のための調査を実施します。

4 月	10 月
5 月	11 月
6 月	12 月
7 月	1 月
8 月	2 月
9 月	3 月

新ルールの提案に向け、管理職やコア教員以外へ働きかけを始めていきます。

新ルールを提案する際の手続きや、踏むべき手順を確認しておきます。

プロジェクトメンバーで、1年間の活動を振り返ります。

次年度の実施計画を立て、学内調整を始めます。

ルールメイキングを はじめよう!

このセクションでは、ルールメイキングを行ううえで基礎となる「ルール」「対話」に関する基本認識をつくったうえで、自身の学校で見直したいルールを決めることをめざします。最初の段階で「そもそもルールとはなんだろう?」「このルールはなんのためにあるのだろう?」といった、一連の活動の中で繰り返し出てくる問いを大切にすると、一連の活動がより深まりやすくなるでしょう。



▲栃木県立足利清風高等学校の生徒と先生がワークショップを実施し、見直したい校則について検討している様子

目次

Step1 ルールについての基本認識を形成する

「ルールとは何か」について、動画教材を参考に考える

Step2 対話についての基本認識を形成する

「対話とは何か」について考え、対話をするために必要な姿勢や方法を考える

Step3 広く検討すべきルールを見つける

個々人が見直すべきと感じているルールについて、率直な意見を出し合い、意見を目で見てわかる形にまとめる

Step4 見直したいルールを決める

見直しをすすめていくルールを絞る（生徒を対象としたアンケートや、重要度／緊急度での整理などを活用する）

活用できる動画教材

実践編②

ルールメイキングをはじめよう
～そもそもルールとは?～



実践編③

ルールメイキングをはじめよう
～対話のあり方～



ルールメイキングを ひろげよう!

見直す校則・ルールが決まった後、調査を通じて、様々な人の意見や必要な情報を集めていきます。この作業を丁寧に行うことで、最終的な提案も説得力をもつものになります。自分たちの意見だけで進めるのではなく、関係する人たちの意見を受け止めながら見直しを進めることが、信頼関係や納得感の醸成にもつながります。



▲安田女子中学高等学校のルールメイキング委員会の生徒が、チームに分かれて新ルール提案に向けた調査について話し合っている様子

目次

Step5 調査計画を立てる

- ・今後の活動を進めるチーム編成を考える
- ・調査を進めるにあたってのガイダンスを行う
- ・各チームで調査計画を作成する

Step6 調査を実施して、データをまとめる

- ・調査を実施する
- ・調査結果を整理・分析する

活用できる動画教材

実践編④

ルールメイキングをひろげよう



実践編④

新しいルールを 提案しよう!

調査が終わったら、いよいよ新しいルールの提案に移ります。生徒からの提案を行い、それを踏まえて必要な調整や対話などを行い、新ルールを決めていきましょう。また新ルール適用後も、新ルールの検証や活動全体の振り返りを通じて、次につなげていくことが大切です。



▲安田女子中学高等学校のルールメイキング委員会の生徒が、先生に向けて新しいルールを提案している様子

目次

Step7 新ルール（解決策）をつくる

- ・新ルール（解決策）を考える
- ・フィードバックや対話の機会を設ける

Step8 新ルール（解決策）を提案する

- ・提案の準備をする
- ・提案会を開く

Step9 新ルールの運用に向けて準備をする

- ・提案を受けて校内調整を行い、新ルールを確定させる
- ・全校生徒や関係者に新ルールについて周知する
- ・実際に新ルールを適用する

Step10 プロジェクト全体の振り返りをする

- ・新ルールの検証を行う
- ・活動全体の振り返りを行う
- ・今後の活動に繋げる

活用できる動画教材

実践編⑤

新しいルールを
提案しよう



実践編⑤

番外編③

社会で活躍する
プロフェッショナルに聞く
ルールメイキングの意義



実践編③

おわりに

この度は、「みんなのルールメイキング」プロジェクトの動画教材・教員ガイドをお手に取ってくださり、ありがとうございます。わたしたち認定 NPO 法人カタリバ「みんなのルールメイキング」事務局では、2019 年度より、生徒が主体となり対話的に校則・ルールの見直しに取り組む学校の活動に伴走し、それぞれの現場において必要なサポートを行ってきました。

近年、ますます全国で校則・ルールの見直しの機運が高まる中、学校現場の先生方からは「どうやって取り組みを進めていけばよいかわからない」「なかなか周囲からの理解が得られない」といった、戸惑いや不安の声が多く寄せられました。この教員ガイドは、そういった先生方の悩みに寄り添い、現場で取り組みを進めるうえでの手がかりとなるような教材をつくりたいという思いから、全国でルールメイキングの実践に取り組む学校現場の皆さま、専門家の皆さまからの知見を集めて制作しました。この教材を活用していただくことで、多くの学校で「自分たちの当たり前を、自分たちで変える」ルールメイキングの取り組みが一層広がっていくことを願っています。

ぜひ、STEAM ライブラリーのサイトに掲載されている関連の動画教材と併せて、ご活用いただければ幸いです。

ルールメイキング・パートナーになりませんか？

「ルールメイキング・パートナー」制度はルールメイキングを実践したいと考える教員の皆さんを対象としたものです。

- **ルールメイキングの実践についてより詳しく知りたい**
- **STEAM ライブラリーを閲覧したものの、何から始めたらよいか分からない**
- **生徒、教員の学び合いの場に参加してみたい**
- **学校で校則・ルールを見直すときに、専門家の助言が欲しい**

校則の見直しとしてだけでなく、生徒主体の学校づくりを実現する第一歩としてルールメイキングに取り組む教員の皆さんもいます。校則見直しの相談、生徒主体の学校づくりを行う上での学び合いをする、学校や教員向けのコミュニティです。



▲パートナー案内

参加要件

- ・教員同士で校則・ルールについて考える機会を設けた／設けたい教員
- ・生徒と校則・ルールについて考える機会を設けた／設けたい教員

参加方法

パートナーに参加を希望する場合は、フォームよりご登録ください。

登録フォーム

<https://rulemaking.jp/partner-form/>



▲パートナー登録